2026年12月期　第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2026年11月10日

上 場 会 社 名　株式会社資生堂　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　4911　　URL　https://corp.shiseido.com/jp
代　　表　　者　（役職名）　代表執行役 社長 CEO　（氏名）藤原　憲太郎
問合せ先責任者　（役職名）　IR部長　（氏名）大島　由紀　（TEL）03-3572-5111

配当支払開始予定日　―
決算補足説明資料作成の有無　：有
決算説明会開催の有無　：有　（　投資家・アナリスト等向け　）

（百万円未満切捨て）

1.2026年12月期第3四半期の連結業績（2026年1月1日～2026年9月30日）

(1)連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		コア営業利益		営業利益		税引前四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第3四半期	741,143	6.8	67,458	124.3	63,456	―	65,286	―	44,385	―	45,255	―
2025年12月期第3四半期	693,817	△4.0	30,080	9.7	△33,350	―	△32,518	―	△43,983	―	△56,111	―

(参考)四半期利益　2026年12月期第3四半期　44,048百万円(－%)　2025年12月期第3四半期　△44,061百万円(－%)

	基本的1株当たり四半期利益	希薄化後1株当たり四半期利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第3四半期	111.08	111.04
2025年12月期第3四半期	△110.10	△110.10

（注）1　コア営業利益は、営業利益から構造改革に伴う費用・減損損失・買収関連費用等、非経常的な要因により発生した損益(非経常項目)を除いて算出しています。
2　対前年同四半期増減率について、当期・前期の一方もしくは両方がマイナスとなる場合や、増減率が1,000%以上となる場合は「－」を記載しています。
3　前第3四半期連結累計期間において、希薄化性潜在的普通株式が178千株ありますが、逆希薄化効果を有するため、希薄化後1株当たり四半期損失の計算から除外しています。

(2)連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2026年12月期第3四半期	1,238,350	639,337	625,343	50.5
2025年12月期	1,267,256	621,270	600,756	47.4

2.配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	―	20.00	―	20.00	40.00
2026年12月期	―	30.00	―		
2026年12月期(予想)				30.00	60.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

3.2026年12月期の連結業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		コア営業利益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通　　期	1,025,000	5.7	87,000	95.4	87,000	―	87,500	―	62,000	―	155.16

（注）　直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：有

※　注記事項

(1)当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更　　：　無

(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更　　：　無

② ①以外の会計方針の変更　　：　無

③ 会計上の見積りの変更　　：　無

(3)発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年12月期3Q	400,000,000株	2025年12月期	400,000,000株
② 期末自己株式数	2026年12月期3Q	373,299株	2025年12月期	463,674株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年12月期3Q	399,583,295株	2025年12月期3Q	399,471,470株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　　：　有（任意）

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

当資料の記載内容のうち、歴史的事実でないものは、資生堂の将来に関する見通し及び計画に基づいた将来予測です。これらの将来予測には、リスクや不確定な要素が含まれており、実際の業績などは、記載の見通しとは異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、【添付資料】5ページ「1.経営成績等の概況 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。